

# 童

2016年9月1日。

例年よりも早く、2学期の子どもたちを、大地入口で赤く染まったリンゴたちが迎えてくれました。秋を象徴するかのようです。残暑が厳しいですが、田んぼの稲穂は実り、雑木林には栗が落ち始めており、はっきり鮮明に、自然は子どもたちに秋の訪れを感じさせてくれています。

先日の好天に恵まれた根子岳登山。たぶん4年ぶりの快晴登山だったでしょうか。花の百名山だけに、まだまだ高山植物が咲き誇っていました。マツムシソウ・ハクサンフウロ・ハクサンシャジン・コウメバチソウ・ミヤマリンドウ・ミヤマアキノキリンソウなどなど、まだまだ花を楽しめました。とんぼや風、空の色は、確実に秋を感じさせるものでした。汗をたっぷりかいても、休憩すると涼風が漂い、すっと汗が引くのも、夏山登山にはないものでした。

新学期早々、台所カラパタール(大地玄関前)にちょっと手を入れました。最近、ガンガーが大人気でこちらが嫉妬していたので、その原因を考えていたところ、ガンガーのような明るい開放的な空間が足りないと感じ、思い切ったうっそうと茂った斜面の樹木の伐採を敢行してみました。子どもたちも久しぶりにお仕事!!をして、大地開設当時と迫る明るさになりました。

2学期、2つの台所を中心に、食欲・味覚の秋を楽しめそうです。

## 【何だか楽しい】

1学期、そして夏休みのキャンプ中、台所ガンガーは不夜城のように、休み知らずに働いてくれました。特に夏休みの野外教室キャンプ、夢たねキャンプも、すべてガンガー。室内のガスキッチンを使わなくなったことはなかったはずですが、東屋と併設しており、雨風関係なし。風も通り涼しく、見晴らしも良く開放的。食器棚も備わり、先進の浄水器付き対面キッチンタイプ。更に石窯オープンも完備。しかもトイレも近い。

天井にベッドをつければ、まさに住めそうです。と言っても、キャンプ中は、隣の芝生で皆寝ていましたが。まさか、こんなに使うなんて思ってもみませんでした。インド旅行中にイメージした台所ガンガー。こう作って楽しもうというイメージではなく、何となく作ってみたい、作り始めたらおもしろい!! という感じでさっさと作ってしまった、その結果、あれよあれよと使ううちに面白くなってきた という感じです。そして、何でもできちゃうし、しかもおいしい!! さらに、掃除もいらなく まさに食べることに集中して楽しめる。クリエイティブかつ省エネかつ **なんだか楽しい!!** 気負いがなく作ってしまった結果、こんな展開になったという感じです。



先日、久しぶりに初代おやじバンドのメンバーが訪ねてくれました。白髪が混じり、お互いの年齢、年月を感じたものでした。子どもは、23歳になっていますが。開口一番、「このスロープでの運動会、忘れられないね」「えらく狭くなったように感じるね」(木が茂ったからでしょう)「こんな風に芝生になっていたかな? えらくきれいになっているね」確かに、当時は完成85%位で開園。エネルギーに大地の子どもたちと夫婦で楽しみ、次々に授かったわが子とてんてこまいの暮らしを楽しみ、妻は夜英語教室の子どもと楽しみ、青ちゃんは、週末の野外教室や農業を楽しむという、芸能人的な暮らし。今、考えるとゾッとするほどの、「丁寧じゃない暮らし」それでも、なんとかぎりぎりの線で、環境整備や施設整備をこなすつもりですが、今でも仕事量の3分の2位ですが、広大な敷地の草刈りと大きく作りすぎた大地園舎本体とあちこちに趣味で作りすぎている小規模施設の維持修理などにかかる手間暇。時には、子どもたちと一緒に、そして、できるだけ子どもの見ている前で、やはり、これらも **なんだか楽しい!!** 気負いない年月がいつの間にか、少しは美しくなってきた大地になっているかもしれません。

先日の根子岳登山。藍ちゃんの荷物は、たぶん25キロを超えていたでしょう。一升炊き炊飯器2つ 米2升 水4升 トウモロコシ8本 更に自分の備品。でも、白馬岳縦走よりもまし!!

まのっちも、実はすごかった。ホットプレート それに焼きそば35玉 焼きそば野菜炒めたものたっぷり、調理器具 ガス管4本 持ってみたら20キロオーバーか。妻のは、見た目は大きい。具入りの食パン8斤ほどが段ボールに入ってるリュックの中に。でも実は軽い!! 青ちゃんのは まのっちよりもちょっと軽め程度か。

初心者の方には失礼かもしれませんが、片道2時間の根子岳登山に、本格的登山の充実感疲労感達成感を自分に課すには、荷物の重さかスピードか人を喜ばせるかしかないかもしれない という超エゴイズム &ナルシズムで、喜んでこれらの荷物を担いだスタッフたちでした。

藍ちゃんは、休むごとに涼風を感じて気持ち良かった、お花たちが励ましてくれた 何が何でも先について、ごはんを焚いておこうと考えながら登ったとのこと。スピード登山にこだわった年長児に6合目ぐらいで追いつかれ、ごはんや水を年長児にシェアして一緒に登り切りました。さすがです。まのっちも、9合目から単独ですずしい顔で登ってきました。こちらもさすがです。下山は、スタッフ皆で、高山植物図鑑を片手に、ゆったりと満足感充実感にひたりながら、お花をたっぷり楽しんできました。こちらも、やはり **何だか楽しい!!** 全力・必死・充実感・達成感の幸せに浸っていたが、どういうわけか気負いなく、マイペースで登れました。

根子岳登山の翌日の振替休み。ゆっくり本を読み、ガンガーで七輪を使いさんまを食べた後、素晴らしい星空を見ながら五右衛門風呂に入りました。しかし、木が大きく成長し茂っているため、星空が開放的に見えません。明日の朝、高所作業車を持ってきて枝を払おうと決めての翌朝。五右衛門風呂の開放的な空間が出来上がり、ふとスロープを見ると、たくさん木が茂っている。ついでだからとあれもこれもとやっているうちに、スロープ一周、更に大地玄関前、そしてあみあみ広場まで手を伸ばして、結局、大仕事になってしまいました。更に、木こりの大地OBの鹿島様までお願いして、どうせやるのならじめじめした雰囲気ではなく、明るい爽やかなホールや砂場にするために、思い切った伐採。伐採するのは簡単ですが、その後の枝や葉っぱ、薪なども片付けは、地味で根気仕事。幼児の頃、祖父が毎朝4時ぐらいから、煮炊き暖をとるために、のこぎりでナラなどを切り、運び出し、薪割りをして積んでいたのを鮮明に覚えています。朝の静けさの中(肉体労働は、朝の涼しいうちが一番)、黙々と枝を運ぶ作業は、どんどんきれいに美しい光景が展開して行って、やはり **何だか楽しい!!** 子どもたちが登園すると、子どもたちがキャーキャー言いながら、そして、必死に真剣に薪を運ぶ姿を見るのも、こちらは **とても楽しい!!**

話は変わるが 最近の一番の好きな言葉 「勤勉」 他者や物や流行物やネット、メディアなどへの依存を抑止する特性として、勤勉性が挙げられるということ。自己コントロールが高いこと、小さい頃から勤勉性を養うことは、依存に対する抵抗力をつけることにつながるということ。そして 勤勉性とは、少ない報酬で努力する能力だと。生産性wo高める、効率性を高めるための際限のない技術革新、モデルチェンジなどの現代社会。農林漁業などは、勤勉性を高める貴重な世界が残っている。新聞配達はまだ勤勉性を高めることだったかもしれない!!

先日伊那で行われた子どもの友社のセミナー。赤羽末吉や田澤雄作(メディアにむしばまれる子どもたち)などの講演がありました。赤羽末吉の生き方を聞いた後、隣席の友人がふと話しかけてくれました。のんのんの料理に対する口癖「**何だかおいしい食べ物**」普通に感じてもらうために、蔭では熱い研究心と努力と熱意と遊び心と好奇心で作ってきた赤羽末吉作品、何だか共通するものがあると、ささやいてくれました。